

さかみち

のほ えが お ま
「さかみちを^{のほ}上ると、笑顔が^{えが}待^まってるよ」

白小だより

12月号 (No.8)

令和6年12月23日

心がぐんと成長した2学期でした

早いもので、明日は終業式です。子どもたちは、学校行事や授業、遊びの中で、友だちや地域の方をはじめ多くの人との交流を通して学び、成長していることを感じています。特に、心の成長を感じます。友だちとの思いの行き違いなどで生じるトラブルを一つ一つ解決していく中で、自分の気持ちも相手の気持ちも大切に折り合いを付ける力を身に付けています。これは、社会で生きていく上で大切な力です。自分も相手も大切にしようとする気持ちが表れている場面がたくさんありました。これからも「素直に まじめに 正直に」すくすくと成長してもらいたいと思っています。そのためには、学校が自分の思いを安心して語れる場であり続けるように、職員一同努めてまいりますので、引き続きご協力お願いいたします。

人権集会 アサーション権について学びました

11月29日に人権集会を行いました。人権集会では、人権教育担当の先生から、「全ての人に自分らしく幸せに生きる権利がある」という話を聞きました。続けて、アサーション権（「アサーション」は心理学の用語で、より良い人間関係を築くためのコミュニケーションスキルの一つとして、「自分も相手も大切にする自己表現」と説明されることが多い言葉）について、次のような話を聞きました。

① 私たちは、だれからも尊重され、大切にしてもらう権利がある。

簡単に言うと、みんなだれもが「自分を大切にしてもらいたい」と思い、それをそのように頼んでもよい」ということです。自分にその権利があるということは、相手にもあります。自分を大切にしてもらうけど、相手も大切に相手の権利も守らないといけません。

② 私たちは、自分の行動を決める権利がある。

自分の行動を決める権利は相手にもあります。相手が自分と違う行動をしたからといって、腹を立てたり、おかしいと決めつけたりするのは間違いです。自分のすることは自分の意志で決めて、行動に責任をもちましょう。

③ 私たちは、だれでも過ちをし、それに責任をもつ権利がある。

簡単にいうと、失敗してもいいよ、そして何度でもやり直していいよということです。失敗していろいろ学んで自信を付けていってください。

④ 私たちは、自己主張しない権利もある。

アサーションするもしないも、自分の責任で選べます。アサーションを使って話しても、時間的にむだだとか、分かり合えないと思ったときは、この権利を使えます。

その後、フレンドグループで、アサーション権を意識しながら「きいて・はなして はなして・きいてトークングゲーム」を行いました。話す内容は自分で決め、自分の思いを話し相手に聞いてもらいました。話を聞く人は、うなずいたり笑顔で反応したりと相手のアサーション権を大切にしながら話を聞いていました。自分も相手も大切にするのは大人でも難しいことですが、このことを意識して子どもたちは成長しています。これも、ご家庭の協力があってのことだと感謝しています。ありがとうございます。